

「富士山噴火時避難ルートマップ」の作成について

平成 27 年 6 月 4 日
山梨県総務部防災危機管理課

1. マップ作成の検討経緯について

富士山における突発的な噴火災害に備え、既存路の現状を確認するとともに、噴火シナリオを想定した上で、避難ルートのあり方について検討。

- ・ 山頂から麓までの間の既存路（スバルライン、登山道、林道等）について、現地調査を行い、道路の状況（幅員、舗装の有無等）を確認。
- ・ 過去の噴火実績を基に、基幹となる道路（富士スバルライン、吉田口登山道、滝沢林道）が被害を受け、使用が困難になる噴火パターンを想定。
- ・ 噴火パターン毎の火山現象の影響範囲を想定して、既存路を活用した避難方向を検討。

噴火パターンの想定、既存路マップ及び噴火時避難パターンの作成にあたっては、火山専門家や地元市町村、富士山関係団体、庁内関係課の意見を伺いながら進めてきた。

2. マップの内容及び活用の考え方について

既存路マップには、原則として、避難時に徒歩での避難が可能な道を表示するとともに、地図上の表示としてポイント（例：五合目駐車場 - S13）を記載。噴火時避難パターンには、過去に発生した噴火の代表的な 4 パターンで予想される火山現象（火口形成、大きな噴石、降灰、溶岩流）の影響範囲を踏まえた避難方向を表示。

活用にあたっては、観光客・登山者や関係者が基本的な火山現象の流れや影響範囲をイメージし、実際に噴火が発生した際の避難行動や支援の目安とするものである。また、火山防災訓練・教育等にも活用。

3. 公表、周知について

平成27年6月11日(木)に公表の予定。(県ホームページ等への掲載 印刷日程を考慮)

県ホームページ等への掲載と併せて、6月中旬に、関係団体・施設等(地元市町村、五合目管理センター、六合目安全指導センター等)に配付し、周知を図っていく。

4. 今後のスケジュールについて

平成27年6月 4日(木): 県防災会議富士山火山部会の開催

平成27年6月 5日(金): 富士山世界保存整備山梨県・地元自治体連絡会議

平成27年6月11日(木): 県ホームページ等により公表(予定)

5. 避難ルート検討報告書について

本マップの作成にあたって実施した現地調査や避難パターンの検討における結果を踏まえて、避難路についての課題や論点を整理していく。

今後、庁内関係課や地元市町村等の意見を取りまとめたうえで、火山専門家等で構成する県防災会議富士山火山部会において、検討報告書を作成する。

その報告書をもとに、今後の噴火時避難対策を検討していく。